



# 8・9月ほけんだより

平成 29 年 8 月 20 日発行

北柏駅前保育園わらび

看護師 田浦百合子

## 保健行事

9月1日 } 身体測定  
10月2日 }

※身体測定後  
みはやラックに記載します。



## 救急の日

9月9日は救急の日です

### 小児救急でんわ相談




知っていますか？

- ・急な発熱
- ・頭をぶつけた
- ・おう吐
- ・けいれん など

判断に困った時の相談窓口です。

一般電話からは

 043-242-9939

もしもの時のため頭の片隅に…

そして

ご家庭に救急箱はありますか？

ケガは突然起こるものです。

非常用具と同じで常備している  
もしもの時に便利です。

ガーゼ・ネット・固定テープ

絆創膏・包帯・トゲ抜き…

消耗品は買い足して。

薬品の使用期限は1年に1度

点検をしましょう。



## ●手足口病 流行しました。

掲示で注意喚起などお知らせをしていましたが、当園で手足口病の流行がありました。疑わしい症状のあったお友達には早めの受診をお願いしました。

ご協力に感謝しています。

現在は終息しましたが、手足口病の原因ウイルスは複数あるため、1シーズンに2度かかってしまうこともあります。

また、夏から秋にかけて流行が懸念される感染性疾患として

『ヘルパンギーナ』『手足口病』『りんご病』『とびひ』…が有名です。

感染早期は体調が悪いまたは悪くなりやすいことも多いので、お子様の状況を判断し、ご家庭で調整が可能な場合は自宅療養をお願いすることもあります。

## ●解熱の判断について



発熱がある場合に注意していただきたいのは、熱は朝下がりがやすく

午後から夕方に向けて上がりやすいという日内変動があるということです。

24時間以上熱が上がらないことを確認して解熱と判断します。解熱剤を使用してさがった熱は解熱ではありません。無理をすると体調が整うのに時間を要し、体調不良を繰り返すことがよくあります。

## ★病児保育・病児後保育 ご存知ですか？★

北柏駅前保育園わらびでは病児・病後時のお子様をお預かりすることは出来ないのですが

柏市では2ヶ所で【病児保育】【病後児保育】を行っています。

『名戸ヶ谷病院病児・病後児室おりーぶ』

『巻石堂病後児保育げんきぞう』

働くお父さん・お母さんの強い味方です。

事前の登録が必要なので、元気な時から備えの登録をお勧めしています。

詳しくは市役所のホームページか、『柏市 病児保育』で検索が可能です。

<http://www.city.kashiwa.lg.jp/soshiki/070800/p038377.html>



## ●とびひ(伝染性膿痂疹)の登園基準について

とびひは夏の疲れが出る8月の終わりから9月頃にさらに多くなります。

虫刺されの傷や痕に菌が付いて発症することが多いようです。

じゅくじゅくした状態、膿を持った水疱を掻き壊してしまうことで感染が拡大します。

接触することで本人に広がることはもちろん、一緒に生活している周りの人にも広く移ってしまうので傷の保護が必須で、とびひ部分の取り扱いには(処置時は使い捨ての手袋を使用するなど)十分注意が必要です。

また手洗いの習慣が予防に不可欠です。

登園基準は創部を覆えることとなっています。

集団生活の場なので覆いきれないほどの広範囲のとびひや、覆えない場所(顔や耳)にとびひが出来てしまうと登園はできません。浸出液が多い場合、感染拡大が懸念される時期は出席を控えていただくことが望ましいとされています。

また、乾燥すれば登園は可能ですが、少しの刺激で表皮が破れてしまうような状態の場合、年齢的な配慮として創部の保護をお願いしています。

汗をかき悪化しないよう空調下での着用が条件ですが、長袖・長ズボンの着用も保護には有効です。また、ガーゼははがれやすいため、ネット(子供用、もしくは大人用を部位にこだわらずワンサイズ下げるなどの工夫が必要)をご用意をお願いすることがあります。

とびひにならないことが1番ですが…。

ご理解とご協力をよろしくお願いします。

